



株式会社菊池製作所

ものづくりの心をつくり 「二括一貫体制」を確立

当社は、試作から量産までの「二括一貫体制」を確立し、ものづくり企業の新製品開発をサポートする企業です。

近年は、ロボット産業の活性化や新しい産業のプラットフォーム作りを目指し、国内50以上の大学や、100社以上のスタートアップ企業との産学連携に取り組んでいます。

8月には、ロボットの開発・実証拠点として、福島おおぞそ研究所に「おおぞそ研究所」を開所しました。医療や介護分野を中心に活躍するサービス・サポートロボットやドローン、自動搬送車などの先端技術の社会実装を促進する場として、福島発のイノベーションを生み出していくことが期待されています。

FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.20)



▲丸窓が特徴の遊び心あるデザイン
おおぞそ研究所

【会社概要】

所在地：福島市大笹生
(本社：東京都八王子市)

代表者：代表取締役社長
菊池 功

設立：昭和45年4月

資本金：13億3百万円

社員数：395人(全体)

業務内容：金属およびプラスチック製品の試作ならびに量産設計・製作・販売、工作機械・各種ロボットの設計・製作・販売

連絡先：☎572-6042

(おおぞそ研究所)

■問/企業立地課 ☎525-3723

クローズアップ

▼スタートアップ企業との包括的な連携を展開

県内に進出するスタートアップ企業の事業化を、ものづくり・普及を含めて一体的に支援し、より豊かで人にやさしい社会の実現に貢献する製品・技術を福島市から世界へ発信します。

▼おおぞそ研究所では体験も

アシストスーツ、ドローンや搬送サービスロボットなど、さまざまなロボットの見学・体験ができます。



◀身体への負担を軽減するアシストスーツ
(㈱イノフィス)



◀農業用ドローン
(イームズロボティクス㈱)



▲株式会社菊池製作所のホームページはこちら

We Love♥
ふくしま!

第63回 フリーアメガソーラー

福島市は、8月31日、「フリーアメガソーラー宣言」地域共生型の再エネ推進の決意を込めて「」を公表しました。

市内では、山あいにメガソーラーの設置が相次ぎ、森林の伐採などで景観が悪化するとともに、災害発生が危惧されています。山地におけるメガソーラーはこれ以上望まない、という市の意思を明確に示したものです。

吾妻連峰などに囲まれた盆地に、信天山や花見山などの里山が点在し、花やくだもの畑が広がる田園風景は、市民の誇りであり、ふるさとの光景そのものです。安全・安心を守り、ふるさとの景観を地域の宝として次世代へ守り継いでいかなければなりません。

法的な設置抑制には限界がある中、市では、太陽光ガイドラインを定め、環境保全との調和とメガソーラーの設置抑制を図ろうと努めてきました。花見山近辺での設置の動きは、何とか止めて原風景を守ることができましたが、市西部に、はげ山が見えるに至ったのは悔やまれません。

宣言はしましたが、法的効果はありません。いかに市民の皆さんと一緒にふるさとの景観を守る強い意思を示すことができるかが重要です。山地でのメガソーラー計画に対し、売却などはしないよう土地所有者のご理解をお願いするとともに、地域の皆さんには、受け入れない姿勢を示していただくようお願いいたします。

一方、地球温暖化が進む中、ゼロカーボンに向けた取り組みを強化しなければなりません。市民・事業者の皆さんには、省エネ機器の導入や断熱改修、ごみ減量化など徹底した省エネ・省資源化に取り組むとともに、屋根や空き地での太陽光発電、水力や温泉熱を活用した発電など、地域と共生する再生可能エネルギー事業を積極的に進めていくことをお願いします。

ふるさとの景観と安全・安心を守りながら、福島らしいゼロカーボンを、市民・事業者の皆さんと共に実現していきたいと思えます。

福島市長 木幡 浩



⑤



臨時災害 ラジオ放送

万一災害が発生した場合、市は、FMポコ(76.2MHz)を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなどに関する緊急情報をお知らせします。 ●問/危機管理室☎525-3793